

## 要 望 書

2011年3月12日

愛媛県知事  
中村時広様

**愛媛環境ネットワーク**  
事務局長 渡部伸二  
東温市南方 576-2  
089-966-6234

愛媛県は、伊方原発を止め、安全性評価の見直しと原子力行政の転換を

昨日発生した東北から関東にかけての地震は、三陸沖を震源とする国内観測史上最大のマグニチュード8.8という超巨大地震であった。特に海底で発生した地震動は、大規模な津波を発生させ、火災もともなって、その甚大な被害が刻々と明らかになりつつある。

今回の地震に関して、地震の専門家が異口同音に口にしているのは、「想定外の大きさである」「複数のアスペリティが連続して動いた可能性がある」「原発の耐震評価を見直すべきだ」などである。

今回の地震被害、取り分け福島原発の停電によるECCSの作動、炉内のガス抜きなど一連の危機的な原発震災は、伊方原発を抱える愛媛県民に、あらためて原発の脆弱さ、耐震安全性の非現実を痛感させた。

私たち県民は、今回の原発震災を我が身のこととして受け止めている。一刻も速く伊方原子力発電所を停止し、耐震安全性の見直しを行い、県と国は、地震国日本における原子力行政の在り方を転換すべきである。